



海こひし潮の遠鳴り数へつつ少女となりし父母の家



与謝野晶子第2歌集「小扇」表紙  
堺市博物館蔵



さかい与謝野晶子  
青春の短歌大会  
選歌集



与謝野晶子のプロフィール

与謝野晶子 [明治 11(1878)年 12月 7日 - 昭和 17(1942)年 5月 29日]

堺市甲斐町の菓子商駿河屋二代目鳳宗七とつねの三女として生まれました。本名は鳳(ほう) 志よう(晶子)。幼少期から帳場の手伝いのかたわら源氏物語に親しみ、大阪府立泉陽高等学校の前身にあたる堺女学校を卒業後は、詩歌の世界にめざめました。新しい詩歌の旗手であった与謝野鉄幹(寛)と出逢い、「明星」を代表する歌人として活躍し、第一歌集『みだれ髪』は石川啄木ら当時の文学青年たちに多大の影響を与えました。その後も「君死にたまふことなかれ」や多くの秀歌を発表し、「日本女詩人の第一人」として時代の頂点を極める存在になりました。

晶子は『春泥集』『夏より秋へ』などの詩歌集だけにとどまらず、小説集、童話集、評論集、歌論書のほかに『新新訳源氏物語』『新訳紫式部日記・新訳和泉式部日記』などの古典の現代語訳を刊行し、さらにヨーロッパから帰国後は、女性の自立と地位の向上をめざした評論活動、教育活動にも大きな功績を残しました。明治、大正、昭和という激動の時代にあって、すぐれた「先見性」と「国際性」をもって「表現者」として真摯に生きた晶子のメッセージには、21世紀を生きる私たちにも勇気と感動を与えるものがあります。

主 催・・・与謝野晶子倶楽部、堺歌人クラブ

共 催・・・さかい利晶の杜

後 援・・・大阪府、堺市、大阪府教育委員会、堺市教育委員会

特別協力・・・与謝野町、大阪府立泉陽高等学校、産経新聞社

協 賛・・・センタラグランドホテル大阪 **SANROTSU**  
三立製菓株式会社

## 潮の遠鳴りが聞こえますか

第五回目となった今回の「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」では、一万四千首をこえる応募がありました。高校生の皆さんとおなじ年頃の晶子は、潮の遠鳴りを聞きながら、『源氏物語』を愛読していたかもしれませぬ。

この選歌集には、晶子が「潮の遠鳴り数へつつ少女となりし」とうたったように、多感な青春の心のときめきのみごとにあらわされています。どうかこれからも、いつでも「潮の遠鳴り」が聞こえるような感性を持ちつづけてください。今回も選者の今野寿美様、堺歌人クラブ会長の小西美根子様、与謝野晶子倶楽部常任委員の勺禰子様には、たいへんお世話になりました。共催、後援、特別協力、協賛の関係各位にも、心から感謝申し上げます。

与謝野晶子倶楽部会長 太田 登



## 短歌のリズムを楽しんで

この「さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」も早や第五回目となりました。全国的に知られるコンクールになり、今回も各地の高校から、過去最多の一万四千九百六十六首もの短歌が集まりました。本当にありがとうございます。

全校挙げての投稿もありました。教室でたぶん初めての短歌作りを、最初はちよつと拒否反応を示しながらも、あれこれ言葉を探しながら、友達の歌を覗き込みながら、指折り数えて一首に作り上げた様子が目に見えるようです。たぶんそれは新鮮で楽しい時間だったのではないのでしょうか。五七五七七の定型に載せる心地良さを味わって下さったと思います。

コロナ禍からようやく解放されて、多様な高校生の日々の生活や心のありようが生き生きと詠まれており、選者も元気をいただく思いでした。

今、空前の短歌ブームと言われ、短歌を作る人が増えています。どうぞこの投稿を契機にたくさん作り続け、千三百年続く伝統文化を継承していただきたいと願っています。

堺歌人クラブ会長 小西美根子



## 第5回さかい与謝野晶子

### 青春の短歌大会

次 第

令和七年一月二十五日(土) 於 さかい利晶の杜

表彰式 十三時三十分

と選評会 十四時五十分

一階茶室

講演会 十五時十分～十六時十分 一階茶室

テーマ…晶子を支えた森鷗外

講師…今野寿美



大正期の晶子(文化学院蔵)

## 第5回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会開催に際して

この度「第5回さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」が無事開催の運びとなり、開催に際しご尽力賜りました関係者の皆様に、心から御礼申し上げます。また、今回14,966首もの作品が日本全国から晶子のふるさと・堺の地に寄せられましたこと、大変嬉しく感じております。短歌を通して、青春の1ページを見事に表現された皆様の豊かな才能と感性に大きく期待するとともに、今後の更なるご活躍を心からお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

さかい利晶の杜 館長 丹下 嗣朗

与謝野晶子の表現世界とその生き方に触れる

### さかい利晶の杜 与謝野晶子記念館

『みだれ髪』にはじまる多くの詩歌集を出版し、また『源氏物語』の現代語訳や、社会問題、教育問題にかかわる評論活動まで行い、明治・大正・昭和という激動の時代にあつて、常に新しい世界に挑戦し、表現し続けた晶子の姿を紹介する文学館です。

SAKAI RISHO NO MORI さかい利晶の杜

〒590-0958 大阪府堺市堺区宿院町西2丁1番1号 TEL 072-260-4386  
<https://www.sakai-rishonomori.com>



与謝野町は令和8年3月1日に町制施行20周年を迎えます

蕪村・礼蔵・鉄幹・晶子…  
まちの文化が香りたつ、短歌と俳句の資料館

## 与謝野町立江山文庫

■開館時間  
午前9時～午後5時(入館は4時半まで)

■休館日  
毎週月曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始(12/29～1/3)

■入館料  
小・中学生100円 一般200円  
団体(8名以上)は50円引き  
歌会などに使える研修室もございます。

【企画展のお問合せ、団体見学のお申込はこちらへ】  
〒629-2421 京都府与謝郡与謝野町字金屋1682  
TEL 0772-43-2180 FAX 同  
URL <http://www.kozan-bunko.sakura.ne.jp/>



## 目次

主催者挨拶	1
第5回さかい与謝野晶子青春の短歌大会	1
表彰式と選評会・講演会次第	2
さかい利晶の杜（共催者）、与謝野町	2
目次	2
短歌賞ヒストリー	3
選者紹介	3
選考経過	3
入賞作品	4
最優秀校	6
入選作品	7
	10

### 短歌賞ヒストリー

全国を展望する恒久的な与謝野晶子顕彰事業として、第1回「与謝野晶子短歌文学賞」は堺歌人クラブ会長を実行委員長とし平成7年に堺市で開催されました。その後、平成15年の9回からは、産経新聞社主催で開催いただくことになりました。



泉陽高校にある「君死にたまふことなかれ」の詩碑

産経新聞社主催での与謝野晶子短歌文学賞が第24回をもって休止したことを受けて、与謝野晶子倶楽部と堺歌人クラブが堺市と連携し、令和の新時代に与謝野晶子の魅力を広く発信するため、青春の短歌に焦点をあて、新たに「第1回 さかい与謝野晶子 青春の短歌大会」を開催し、本年度第5回大会となりました。開催にあたり、産経新聞社と与謝野晶子の出身校である大阪府立泉陽高等学校には継続して協力をいただきました。令和5年度より、晶子の夫寛（鉄幹）の実父与謝野礼殿の生誕の地である与謝野町の協力をいただいています。

## 選者紹介

こんの 寿美氏



1952年東京都生まれ。歌誌「りとむ」編集人。宮中歌会始選者。昭和54年に「午後の章」で第25回角川短歌賞受賞。平成元年に「世紀末の桃」で第13回現代短歌女流賞、22年に「かへり水」により第37回日本歌人クラブ賞ほか。歌集に『若夏記』『龍笛』『さくらのゆゑ』など。「24のキーワードで読む与謝野晶子』『みだれ髪 訳注』『歌ことば100』『森鷗外―短歌という詩型に生涯愛情を持ち続けた文豪』など、与謝野晶子、「明星」をめぐる著書がある。

### 【総評】

友人どうしのにぎやかな活動や語らいの日々を楽しげに伝える一方、現実や社会に冷静な目を向けて、自分なりの思索を広げている作品も多く、それが全体の読み応えにつながっていたようです。なかなか頼もしいことでした。

## 選考経過

令和6年度の「第5回さかい与謝野晶子青春の短歌大会」では、高校生を対象に短歌の募集を行いました。募集は、6月3日から9月9日の期間で実施し、全国の高校62校、9,003名から14,966首のご応募がありました。北は秋田県から南は鹿児島県まで全国の高校生からたくさんのお応募をいただきました。学校単位の団体応募は59校で、最多の投稿をいただいた高校は、1,554首でした。

選考については、1次選考を堺歌人クラブで行った上で、今野寿美氏に最終選考をお願いしました。上位10首並びに選者賞を入賞とし選評をいただくとともに、62首の入選歌を選んいただきました。また、複数の入賞や入選を果たした学校から最優秀校を決定いたしました。

# 大賞

最悪も最愛すらもありふれて  
たったひとつがいつもたくさん



神奈川県立光陵高等学校 上田 朱雀

この度は一万作以上の中から大賞を受賞出来たことを大変光栄に思います。この歌は高校生活の中で感じた思いを込めた歌です。この歌が誰かの心に残って貰えたことがとても嬉しく思います。改めまして、大賞有難うございます。

### 選評

現実に冷めた目を向けています。言葉の軽さ、表現の曖昧さを疑ってしまいますね。それは意識の高さでもある。知性を感じました。

## 選者紹介

こんの 寿美氏



1952年東京都生まれ。歌誌「りとむ」編集人。宮中歌会始選者。昭和54年に「午後の章」で第25回角川短歌賞受賞。平成元年に「世紀末の桃」で第13回現代短歌女流賞、22年に「かへり水」により第37回日本歌人クラブ賞ほか。歌集に『若夏記』『龍笛』『さくらのゆゑ』など。「24のキーワードで読む与謝野晶子』『みだれ髪 訳注』『歌ことば100』『森鷗外―短歌という詩型に生涯愛情を持ち続けた文豪』など、与謝野晶子、「明星」をめぐる著書がある。

### 【総評】

友人どうしのにぎやかな活動や語らいの日々を楽しげに伝える一方、現実や社会に冷静な目を向けて、自分なりの思索を広げている作品も多く、それが全体の読み応えにつながっていたようです。なかなか頼もしいことでした。

## 選考経過

令和6年度の「第5回さかい与謝野晶子青春の短歌大会」では、高校生を対象に短歌の募集を行いました。募集は、6月3日から9月9日の期間で実施し、全国の高校62校、9,003名から14,966首のご応募がありました。北は秋田県から南は鹿児島県まで全国の高校生からたくさんのお応募をいただきました。学校単位の団体応募は59校で、最多の投稿をいただいた高校は、1,554首でした。

選考については、1次選考を堺歌人クラブで行った上で、今野寿美氏に最終選考をお願いしました。上位10首並びに選者賞を入賞とし選評をいただくとともに、62首の入選歌を選んいただきました。また、複数の入賞や入選を果たした学校から最優秀校を決定いたしました。

### 与謝野晶子倶楽部賞

レンズにはこの雰囲気は映せない  
知っていながらカシヤとならした

大阪府立住吉高等学校 中川 友葉

それほどに楽しい雰囲気であることを巧みに語っています。「知っていながら」のわきまえ、シャッター音に託した結び。万全です。

### 堺歌人クラブ賞

ラジオから花火しらせる楽しげに  
七十九年後八月十五日

山形県立山形西高等学校 渡邊 奏音

七十九年前のこの日にラジオから流れた放送を忘れていいの？ という率直な問いかけが真摯な強さで迫ります。感心しました。

### さかい利晶の杜賞

キャンバスに小さな雲を描き足した  
青すぎる空に溺れないよう

神奈川県立光陵高等学校 森岡 千尋

油絵を描きながら背景の空があまりに青すぎて不安になった。できすぎの現実には危うさを覚えてしまうもの。下の句、格好の支えです。

### 堺市長賞

絵文字くらい表情豊かになれたなら世界は変わっていたのだろうか  
学習院女子高等科 千代 はるか

選評 同世代との意思の疎通に絵文字の効用はばっちり。多用するうち対比的に自分について思う。省みる心のスケールも大きい歌です。

### 堺市教育長賞

夏の日汗で思い出乱反射映し出される友との時間  
大阪府立今宮工科高等学校 中野 翔

選評 中高時代は何といっても友人達と過ごす時間が最大の喜びですね。特に夏休み。第二句、第三句の表現が洗練とした気分につたり。

### 大阪府知事賞

負けてまたここに来ようと思うなら今は拾わぬ足元の土  
大阪府立三國丘高等学校 山本 晃大

選評 勝ち抜いてきてこそ甲子園出場。無念から土を掬うのはわかるけどを期するならと強気の発言。よく整って印象もさわやか。

### 与謝野町長賞

かぶらない唯一無二でいたいけどみんなといっしょも悪くはないな  
関西大倉高等学校 中野 蒼

選評 抜きん出た個性を目ざしたい年頃ですよね。でも、翻って仲間意識の大切さに思いがゆく。明晰で、ちらりと見せる可愛さも貴重です。

### 大阪府立泉陽高等学校賞

自由にも際限あるのは分かるけど「大人の事情」はまだ知りたくない  
山形県立山形西高等学校 宮野 愛弓

選評 自由にも際限があるとわかまえていたあたり、しっかり者。世間のしがらみに悩むことはなさそうですが、この反発も今は大切ですね。

### 産経新聞社賞

陸上のスパイクのピンの音聞こえ夏の大会少し震えた  
三重県立明野高等学校 大屋英実里 メイ

選評 鋭くて大掛かりな音に聞こえますね。初めての大会だと脅威を感じたり武者震いしたり。「少し」を添えたことで現実味もいよいよ。

### 選者賞

ゆつくりと首ふる白い扇風機僕のほうだけ見てほしい  
大谷高等学校 岡田 晴

選評 一首の構造に注目しました。上の句は首を巡らせる扇風機の描写ですが、それはそれとして君は僕のほうだけを下の句の恋心の表明に結びつけています。和歌の序詞の手法の応用のよう、手慣れてないところは詠めない。訴えの一途さも含め、惹きつける歌でした。

雨上がり改札のない駅の中てんとう虫の隣に座る

関西大倉高等学校 酒井 望睦

選評 場面に語らせて魅力ある歌です。察するにローカル線のごく小さい駅で、改札すらない。少し前までの雨で閑散と、人の姿もない。ぼつんとあるベンチには思いがけず先客のてんとう虫。てんとう虫としばし鄙びた時間を共有する不思議な充足感。個性的な味わいです。

今日よりも明日の私は遠いから星の速さで追いかけてきて

神奈川県立光陵高等学校 坂本 桃花

選評 離れないで、いつもそばにいてほしいという素直な恋心の歌。天体のイメージを押し出してロマンチックな語りになっています。それだけ遥かなニュアンスであるということは、もしかしたら届かない想いの切実な訴えでしょうか。上の句にはそんな可憐さが匂います。

### 最優秀校賞

神奈川県立

光陵高等学校

(神奈川県)



神奈川県立光陵高等学校

#### 〔大賞〕

最悪も最愛すらもありふれてたつたひとつがいつもたくさん

上田 朱雀

#### 〔さかい利晶の杜賞〕

キャンバスに小さな雲を描き足した青すぎる空に溺れないよう

森岡 千尋

#### 〔選者賞〕

今日よりも明日の私は遠いから星の速さで追いかけてきて

坂本 桃花

#### 〔入選〕

無駄じゃない授業は聞いていなくても僕らは青を学んでいます

榎下 小春

ありがとがごめんねになる距離感のこれは直火で燃やせない恋

池野 弘葉

朝六時菜頼りに今日を開く自分らしさを探し求めて

太田 実来

アラムが朝だと告げるその前にはおはよう今日も生き急いでる

照田 佳苗

教室に置いていこうか重たくていつか蒸発するはずの恋

山本 未生

オレンジを切り分けるように解いていく問題集の酸っぱい匂い

佐野 晃太

# 入選

毎日の振り子のような生活に我はただ思うことしかできず

北九州工業高等専門学校 迫田 隼人

あと五分期末試験が終わるまで僕たちの夏が始まるまで

帝塚山高等学校 山本 芽依

想い人近くにいたり離れたりまるで海の波打ちのよう

長野県白馬高等学校 清水 友明美

夕暮れが君と私を染めていく火照る私をごまかすように

大阪府立布施高等学校 野田 純鈴

風に乗る季節外れの雪のように私も空を舞ってみようか

大阪府立布施高等学校 高野 歩佳

友達と一緒に帰る三十分体感五分で「んじやまた明日」

大阪府立金岡高等学校 西野 七海

陽の光覗く窓から目をそむけ夢と現実どちらで起きたか

大阪府立金岡高等学校 山本 祈久斗

上げきの名前薄れていくようにタイムリミット近づいていく

大阪府立金岡高等学校 尾田 日咲

心地よい祭りの後の静けさや一人じゃないと虫が鳴いている

大阪府立淀商業高等学校 森野 蒼太郎

夏が来るマスクの中は熱帯夜外す機会はとうに失くした

初芝富田林高等学校 沖田 真幸

窓辺にて読書しながらとうとうと光合成の練習もする

初芝富田林高等学校 高木 陽奈

お父さんごめんなさいが言えてたら今頃仲良く出かけただろうな

初芝富田林高等学校 松浦 心優

青空を見てるふりして君のこと「難しいな」と解いてみるけど

初芝富田林高等学校 松本 樹奈

海風に逆らうとんぼズームして忘れたくない今日のおもいで

大阪府立三國丘高等学校 西岡 史織

アイスティーの最後の氷とけ切って高二的の夏が終わっていくよ

大阪府立三國丘高等学校 野村 有希

くもりだが上はいつでも晴れているそんな心で生きていきたい

大阪府立三國丘高等学校 橘 晃太郎

年に一度しか会えないなんてベガとアルタイルになった覚えはないよ

広島県立呉商業高等学校 岡澤 優衣

つらくても涙ぐつとこらえていたら「泣いてもいいよ」母の目赤き

大阪朝鮮中高等学校 高級部 金 瑞那

君の恋不幸を願う僕はもう幸せにする資格もないな

東邦大学付属東邦高等学校 澤田 紗愛

え、分からんアカン終わらん勘、当たらん見るも無惨な解答の欄

東邦大学付属東邦高等学校 金山 灯

がなもがなてしがてしがなばやなむそ唱えませんか終助詞の呪文

大阪府立住吉高等学校 坂元 菜友

新聞に「二十歳から四十まで青春」思ってたんと違うんやけど

京都府立嵯峨野高等学校 内田 芳佳

夕闇に沈む愛宕を仰ぎ見て車窓の向こうの自分と目が合う

京都府立嵯峨野高等学校 富永 湊大

考える私と5分で詠む君は正反对だが出来は似ている

須磨学園高等学校 今村 未悠

ページ数多かったはず一〇九六頁しおり挟んでとめておきたい

大阪府立泉北高等学校 藤井 実々

去年まで祖母から聞いた「おかえり」は私が言う番盆花飾る

松商学園高等学校 伊藤 沙帆



夏の締め初めて釣ったアオリイカ帰り道には大きな満月  
堺市立堺高等学校 青木 和太

タータンの熱さ全てを受け止めてこの一本に全てをかける  
大阪府立鳳高等学校 綾織 宝輝

無駄じゃない授業は聞いていなくても僕らは青を学んでいます

神奈川県立光陵高等学校 檜下 小春

ありがとがごめんねになる距離感のこれは直火じかびで燃やせない恋

神奈川県立光陵高等学校 池野 弘葉

朝六時菜頼りに今日を開く自分らしさを探し求めて

神奈川県立光陵高等学校 太田 実来

アラームが朝だと告げるその前におはよう今日も生き急いでる

神奈川県立光陵高等学校 照田 佳苗

教室に置いていこうか重たくていつか蒸発するはずの恋

神奈川県立光陵高等学校 山本 未生

オレンジを切り分けるように解いていく問題集の酸っぱい匂い

神奈川県立光陵高等学校 佐野 晃太

永遠にこの時でいいそう願う気がつけばもう選挙権あり

大阪府立水都国際高等学校 井村 笑咲

海に行く」どの海が好き？」ひとつだよ海は世界にひとつだけだよ

大阪府立東佳吉総合高等学校 河合 聖愛

良いものにしたからこそ激怒したあなたはメロス駆け抜けて行け

大阪府立いちりつ高等学校 大北 千織

電車からふと眺め見る夜の街光の数ほど人生がある

大阪府立いちりつ高等学校 中 圭太コサシ

「また明日あした」去り行く君は後ろ見ず私は何度も振り返るのに

大阪府立いちりつ高等学校 古井 万葉

同じもの？幼い頃に見た映画大人になるってこういうことか

大阪府立いちりつ高等学校 高松 莉子

焦燥感お前はいつもそこにいた明日を思うすぐそこにいた

大阪府立狭山高等学校 岩本 星桜

いつもより小さな声で話そうか暗闇に咲く線香花火

大阪府立狭山高等学校 岡田 実優

教科書をずらして隠した落書きは思い出と共にたたまれている

初芝立命館高等学校 古家 寛子

青春って何だろうねと君に問う君は笑って「今」と答える

東京都立町田高等学校 勝田 そら

テニス部で仲間と共に練習し日々強くなり下剋上する

東京都立町田高等学校 植田 俊太郎

紫陽花の隙間から見る君の目は紫よりも神秘的である

サレジャン国際学園高等学校 小林 花

ビー玉に透かして見えた世界には見えぬ正解ある気がしてる

サレジャン国際学園高等学校 名倉 舞

世界史で習う長いカタカナ名魔法学校の呪文みたいだ

サレジャン国際学園高等学校 菅 志織

台風の目に住む君は言葉すら気にせず先に進むのだろう

星野高等学校 長谷部 澄香

小説の主人公の歳追い抜いた私は何か変わりましたか

星野高等学校 倉持 美香

一番の心を満たすときこそは一冊ノートがくたびれたとき

大阪府立千里高等学校 印幡 侑那

三味線の儂い音は土地への愛下駄が鳴り響く郡上八幡

大阪府立千里高等学校 上野 桜和

久々にブランコに乗り揺れてみた揺れていたのは僕らのこころ

関西大倉高等学校 鳥養 総

部屋の中で外との繋がり絶ってみて一人で楽しむ日があってもいい

関西大倉高等学校 吉本 楓

衣替えはだて感じる夏の風躍りはじめる私の心

明浄学院高等学校 河合 倭佑

じりじりと葉を枯らすような猛暑でも朝が来たれば蕾はひらく

羽衣学園高等学校 中山 めい

酒入りはいいつにも増して話す父気づけ私の眠気の限界

羽衣学園高等学校 小林 愛琉

寂しさを恐れる心皆が持つものだとして寂しさ消える

大阪府立泉陽高等学校 芳田 悠人

思い出す透明だったあのときをどんなことにも必死になって

大阪府立堺東高等学校 門口 浩斗

汗にじむ選手から受け取るあかビブス蝉も息を殺す引退試合

鹿児島第一高等学校 西丸 知伺

思い出とか特に呼ぶものもないけれど夏が過ぎると少し寂しい

大阪府立交野高等学校 金杉 海澄

友達に元気なおはよう言うために今日も学校行こうと思う

清風南海高等学校 谷川 ゆかり